

個人投資家向け説明会

2023 年 11 月

日産車体株式会社

会社紹介

日産車体は、ここ神奈川県平塚市に本社、
湘南工場、テクノセンターがあり秦野市には秦野事業所、
そして福岡県には日産車体九州があります。
それでは、この4つの拠点の特徴をご紹介します。

本社、湘南工場ではNV200バネット、
小型トラックのピックアップなどを生産。

テクノセンターでは新型車の開発や試作モデルの制作。
秦野事業所にはボディパーツを作るプレス工場と、
テストコースをはじめとする実験設備。

そして、日産車体九州では、
ミニバン エルグランドや輸出用のパトロールなどを生産。

日産車体で生産されたクルマは、
日本国内はもちろん、海外でも高い評価をいただいています。

日産車体で生産されたクルマは、国内に出荷されるだけでなく、
世界各国へも輸出されています。
高品質なクルマを、世界中のお客様へ。

2023年度第2四半期の内容

皆さま、こんにちは。

日産車体株式会社、代表取締役社長の吉村東彦です。

ただいまより、2024年3月期 第2四半期決算について説明致します。

2023年度、第2四半期の売上台数は、上海ロックダウンや半導体の供給不足の影響を受けた22年度に対し持ち直し、7万1千台となりました。

車種別の売上台数を見ると、ご覧のようになります。
昨年度半導体供給不足の影響を大きく受けた湘南工場のNV200バネットとADが大きく回復したほか、生産活動の正常化に伴い、その他の車種の多くで昨年に対し増加しました。

次に、売上高についてです。2023年度第2四半期の売上高は、前年から増収となり、前年

同期の 1309 億円に対し、1455 億円となりました。

次に損益面について説明します。

営業利益は、前年同期のマイナス 10.4 億円に対し、4.8 億円、経常利益は、前年同期のマイナス 6.3 億円に対し、6.9 億円、当期純利益は、前年同期のマイナス 5.4 億円に対し、4.1 億円となり、今年度上期は前年に対し増収増益となりました。

しかしながら、計画に対しては、残念ながら下回る結果となりました。

続いて、通期の予想について説明します。

当社グループの主たる事業セグメントである自動車関連事業において、需要の変動による台数の減少及び車種構成の悪化により、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株式に帰属する当期純利益が前回予想を下回る見込みであります。

売上高は、当初予想 3,394 億円に対し、通期見通しで 3,079 億円、営業利益は、当初予想 88 億円に対し 20 億円、経常利益は、当初予想 89 億円に対し、24 億円、そして、当期純利益は、当初予想 56 億円に対し、11 億円となる見込みとなりました。

以上が 2024 年 3 月期 第 2 四半期決算についての説明になります。

お忙しい中、ご視聴いただき、誠にありがとうございました。